

# 平成 24 年度 普通会計・特別会計



飯山市の平成 24 年度普通会計および特別会計決算がまとまりました。今回はその状況をお知らせします。

普通会計とは——  
一般会計、福祉企業センター特別会計、ケーブルテレビ事業特別会計をあわせたものです。

実質公債費比率、将来負担比率とも一層改善  
節度ある財政運営で、健全化を推進

## 歳入

平成 24 年度普通会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入（収入）211億919万円、歳出（支出）202億5066万円となりました。

普通会計の歳入について、市税は24億3929万円、前年度に比べ0.6%増となりましたが、これは個人・法人市民税の増が主な要因です。地方交付税は56億1854万

## 歳出

普通会計の歳出は、普通建設事業費が18億7025万円、前年度比10.5%の減となりました。これは、区画整理事業費の減や、前年度、飯山

シャントエの改修整備が終了したため減額となったものです。借入金返済にあたる公債費は、過疎債の返済が順調に行われ、新規の借入を抑制してきたことにより12.9%減の13億4442万円となりました。また、扶助費については児童手当の支給対象者の減や前年度の豪雪に伴う雪害救助派遣員の減などにより、前年度比6.3%減の12億9437万円となりました。人件費は19億9804万円、前年度比3.4%増ですが、これは退職者が増えたことに伴う退職金の増が主な理由です。補助費等は前年度比21.2%増の14億7731万円でしたが、これは岳北広域行政組合の市分担金の増や、国の介護施設建設補助があったことが主な要因です。

普通会計以外の特別会計（12ページ参照）についても全会計について黒字決算を計上することができました。

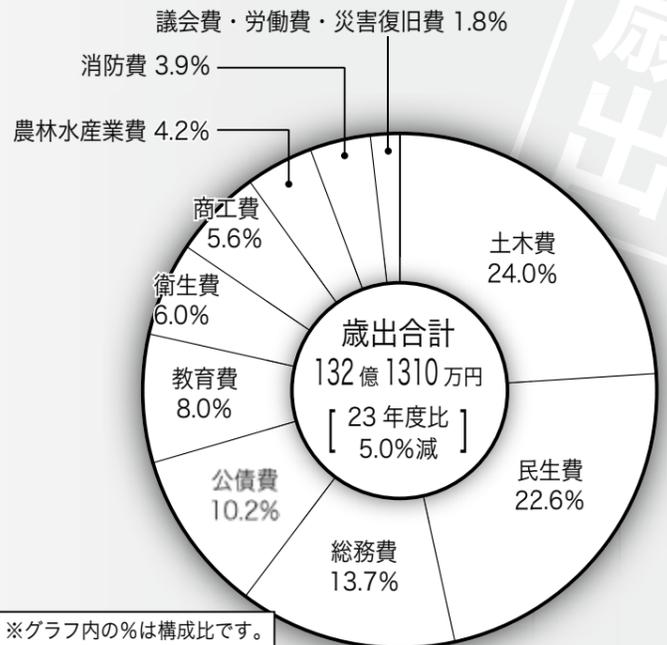
飯山市における健全化判断

### 歳出の決算額（性質別歳出の状況）

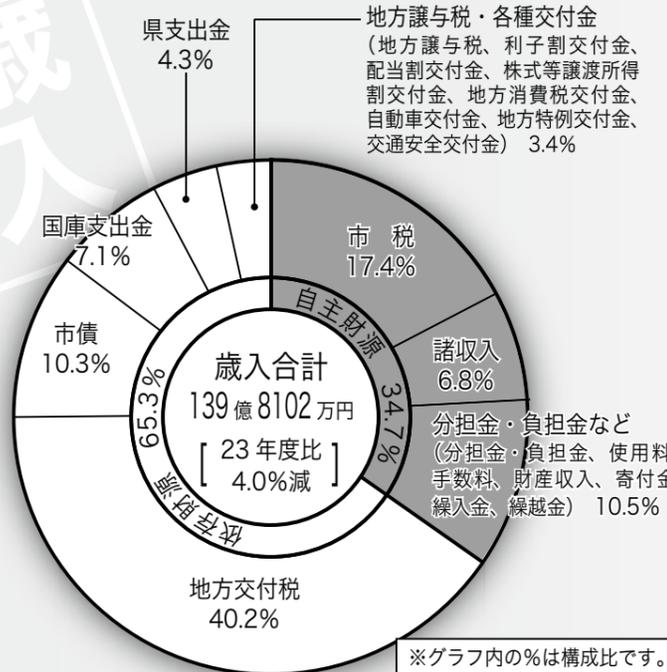
区分	決算額	対前年増減
人件費	19億9804万円	3.4%↑
普通建設事業費	18億7026万円	10.5%↓
繰出金	18億3212万円	1.9%↓
物件費	16億4126万円	4.0%↓
補助費等	14億7731万円	21.2%↑
公債費	13億4442万円	12.9%↓
扶助費	12億9437万円	6.3%↓
投資・出資金・貸付金	7億4996万円	22.4%↓
維持補修費、その他	10億536万円	16.1%↓

### 歳出の決算額（目的別歳出の状況）

区分	決算額	対前年増減
土木費	31億6683万円	5.7%↓
民生費	29億7976万円	1.8%↓
総務費	18億1158万円	1.0%↑
公債費	13億4442万円	12.9%↓
教育費	10億6192万円	15.3%↓
衛生費	7億8938万円	9.2%↑
商工費	7億4052万円	14.7%↓
農林水産業費	5億5930万円	8.6%↓
消防費	5億995万円	16.9%↑
議会費・労働費・災害復旧費	2億4944万円	11.6%↓



※グラフ内の%は構成比です。



※グラフ内の%は構成比です。

### 歳入の決算額

区分	決算額	対前年増減
地方交付税	56億1855万円	4.2%↓
市税	24億3929万円	0.6%↑
市債	14億2480万円	47.4%↑
国庫支出金	9億9618万円	17.7%↓
諸収入	9億5524万円	25.9%↓
県支出金	5億9582万円	2.2%↓
分担金・負担金など	14億6635万円	12.8%↓
地方譲与税・各種交付金	4億8479万円	7.4%↓

#### 市税の内訳

税目	決算額	構成比	増減率
固定資産税	11億9313万	48.9%	2.2%↓
市民税	9億4236万	38.6%	4.8%↑
市たばこ税	1億6701万	6.8%	1.0%↑
軽自動車税	6985万	2.9%	0.5%↑
都市計画税	5794万	2.4%	6.4%↓
入湯税	900万	0.4%	2.0%↑

### 用語解説

- 歳入**
  - 市税：市民税や固定資産税など、市に納められた税金。
  - 地方交付税：所得税などの国税のうち一定の割合を、市の状況に応じて国から配分されるお金。
  - 諸収入：他の収入科目に含まれない収入をまとめたもの。延滞金、預金利息、宝くじ収益金などもこれにあたる。
  - 分担金・負担金：分担金は、市の事業により特に利益を受ける者から、その受益の限度において徴収されるもの。負担金は、地方公共団体が、他の市や住民に課するもので健康診断受診者負担金が代表的なもの。
  - 各種交付金：国税として国が徴収した財源を、一定の合理的基準によって地方公共団体に再配分されるお金。
  - 市債：市が建設事業などの財源とするための長期の借入金で、償還が一会計年度を超えるもの。
  - 国庫支出金：国から支出される、原則的に使途が特定されている負担金、補助金、交付金、委託金など。
  - 地方譲与税：国が国税として徴収し、そのまま地方公共団体に対して譲与する税。
- 歳出**
  - 土木費：道路や河川、新幹線などの整備に使われたお金。
  - 民生費：高齢者や障害者、児童福祉の推進などに使われたお金。
  - 総務費：人事管理や財産管理、企画調整や地域振興、税務事務などに使われたお金。
  - 公債費：これまでに公共事業などで借り入れたお金の、返済に使われたお金。
  - 教育費：小中学校の管理運営や施設整備、および生涯学習の推進などに使われたお金。
  - 商工費：商業や観光の振興および企業の誘致などに使われたお金。
  - 衛生費：ごみの処理や健康増進事業などに使われたお金。
  - 農林水産業費：農業、林業、畜産などの振興に使われたお金。
  - 消防費：消防団の運営や常備消防の維持など、消防活動や救急活動に使われたお金。
  - 議会費：議会運営に使われたお金。
  - 労働費：労働行政に使われたお金。
  - 災害復旧費：災害復旧のために使われたお金。

# 平成 24 年度決算に基づく健全化判断比率など

健全化判断比率には、「早期健全化基準」と「財政再生基準」があり、4 指標のうち各基準を 1 つでも上回ると「早期健全化団体」、「財政再生団体」へと移行し、財政健全化計画の策定などが義務付けられています。

## 【健全化判断比率】

指 標	23 年度	24 年度	早期健全化基準	財政再建基準
実質赤字比率	—	—	13.73%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.73%	30.00%
実質公債費比率	14.7%	13.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	75.4%	66.7%	350.0%	

## 実質赤字比率、連結実質赤字比率

実質赤字額がないため（黒字のため）「—」で表示しています。

## 実質公債費比率、将来負担比率

実質公債費比率は 1.0 ポイント、将来負担比率は 8.7 ポイント前年に比べて改善しました。改善の要因として、実質公債費比率では過疎債などの地方債償還額が減少したこと、将来負担比率では下水道事業などの公営企業債における一般会計繰入金が減少したことが挙げられます。

普通会計地方債残高は、過疎対策事業の本格化に伴う新たな過疎債の借入れ等により平成 24 年度は 78 億 5657 万円となり、平成 23 年度の 76 億 8472 万円と比較すると 1 億 7185 万円増加しています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、飯山市の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の 4 指標の総称）と、公営企業の資金不足比率を公表します。

## 【資金不足比率】

決算において資金不足を生じた公営企業がないため該当ありません。「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す数値で、基準値を超えると「経営健全化計画」を定める必要があります。

## 健全化判断基準とは・・・

**実質赤字比率**・・・一般会計などを対象とした実質赤字額が標準財政規模に対する比率です。

**連結実質赤字比率**・・・全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

**実質公債費比率**・・・地方公共団体の収入に対する借金返済額の比率を示すもので、普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰出金（公債費相当）と岳北広域等への分担金（公債費相当）を加算し、財政負担の度合いを判断するものです。

18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要となります。

**将来負担比率**・・・地方公共団体の一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を現時点で指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。

350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

# 平成 24 年度 普通会計決算

# 主な使い道

特徴的な事業、生活に身近な事業  
(1万円未満四捨五入)

## 土 木 費

- 道路新設・改良事業 (1 億 4396 万円)
- 区画整理・新幹線駅周辺整備・関連事業など (6 億 9408 万円)
- 北陸新幹線鉄道整備事業 (1 億 2439 万円)
- 景観形成整備事業 (789 万円)
- 仁王像整備事業 (2118 万円)
- 飯山城跡整備事業 (1141 万円)
- まち並整備事業 (1900 万円)
- 除雪対策費・除雪機械整備 (6 億 6002 万円)
- 協働のみちづくり事業 (2989 万円)
- 飯山ぶらざ (仮称) 建設事業 (2 億 5795 万円)
- 住宅リフォーム支援事業 (1412 万円)
- 移住・定住の住宅建設支援 (1519 万円)



## 商 工 費

- 企業誘致対策 (286 万円)
- 工業用地等取得費補助事業 (1295 万円)
- 地域資源活用型起業支援事業 (308 万円)
- 土産品開発支援事業 (174 万円)
- 観光施設整備、管理 (2200 万円)
- 誘客宣伝観光振興事業 (1011 万円)
- 広域観光推進事業 (736 万円)
- 信州いいやま観光局運営事業 (4000 万円)
- 斑尾高原山の家整備事業 (1086 万円)



## 衛 生 費

- 各種検査、予防接種など (9605 万円)
- 医師招聘推進事業 (300 万円)
- ごみ減量・再資源化推進 (369 万円)
- 岳北広域行政組合衛生関係施設運営負担金 (3 億 450 万円)
- リサイクル推進 (2552 万円)

## 民 生 費

- 飯山市社会福祉協議会補助 (2331 万円)
- 老人施設入所措置事業 (6652 万円)
- 高齢者生きがい対策事業 (2073 万円)
- 一人暮らし高齢者等緊急情報整備事業 (225 万円)
- 後期高齢者医療市町村負担事業 (2 億 5926 万円)
- 子どものための手当給付事業 (3 億 4450 万円)
- 保育所運営事業 (2 億 2297 万円)
- 子育て支援事業 (200 万円)
- 保育所環境整備事業 (3039 万円)
- 災害救助派遣事業 (254 万円)



## 教 育 費

- 学力向上総合対策事業 (634 万円)
- 小学校施設リニューアル整備事業 (7773 万円)
- 小学校保健室エアコン設置事業 (184 万円)
- 文化財保存管理・調査事業 (541 万円)
- ジュニアスポーツ振興事業 (943 万円)
- アルペン交流センター整備事業 (1146 万円)

## 総 務 費

- 「1 階の窓口改善」整備事業 (533 万円)
- 新幹線開業 PR 推進事業 (497 万円)
- 区長行政事務委託事業 (1892 万円)
- 公共交通運行事業 (6853 万円)
- ふるさと寄付金推進事業 (1331 万円)
- 輝く地域づくり支援事業 (477 万円)
- コミュニティ助成事業 (1290 万円)
- 選挙執行事業 (衆議院、農業委員会) (1375 万円)



# 平成 24 年度 特別会計決算

特別会計名	歳 入	歳 出	差引残額
公共下水道事業	8 億 4317 万円	8 億 3200 万円	1117 万円
特定環境保全公共下水道事業	3 億 8023 万円	3 億 7271 万円	751 万円
農業集落排水事業	3 億 4767 万円	3 億 4108 万円	659 万円
簡易水道等	2 億 599 万円	2 億 371 万円	227 万円
国民健康保険	25 億 6728 万円	25 億 2715 万円	4013 万円
介護サービス事業	1039 万円	879 万円	159 万円
介護保険	25 億 4810 万円	25 億 2838 万円	1972 万円
後期高齢者医療	2 億 2534 万円	2 億 2374 万円	160 万円

- ・いずれも普通会計に算入していないものです。
- ・1万円未満四捨五入により端数処理してあります。
- ・下水道事業特別会計は 14 ページでお知らせしています。

## 農林水産業費

- 中山間地域等直接支払い事業 (8217 万円)
- 農地・水保全管理支払事業 (1331 万円)
- 協働のみちづくり事業 (899 万円)
- 鳥獣害・病害虫対策 (248 万円)
- 協働のもりづくり事業 (149 万円)

## 消 防 費

- 消防団の運営経費 (6995 万円)
- 消防防災施設整備、管理 (3053 万円)
- 災害対策・防災減災対策 (550 万円)



# 市営住宅入居者募集

いいやま住んでみませんか 住宅係  
☎62-3111 内線 252

市では市営住宅について、下記のとおり補充入居者を募集します。

申込方法や入居資格など詳しくは、いいやま住んでみませんか課までお問い合わせください。

- 団地・戸数  
水上団地、曙町団地 各 1 戸
- 受付期間 10 月 25 日(金)～11 月 8 日(金)  
休日等の閉庁日を除く  
8:30～17:15
- 選考方法 抽選(募集戸数を越えた場合)
- 抽選日時 11 月 18 日(月) 10:00～  
(市役所 4F 第 1 委員会室)
- 申込用紙配付・受付場所  
市役所 2 階いいやま住んでみませんか課住宅係

# 有毒きのこによる食中毒にご注意を

市民環境課 生活環境係 ☎3111 内線 191・192

毎年、秋になると、有毒きのこによる食中毒が集中して発生しています。きのこ採りを楽しむ場合は、次の点に注意しましょう。

○知らないきのこは採らない、食べない、人にあげない

○食べられるきのこの特徴を完全に覚える

○誤った言い伝えや迷信を信じない

○もしきのこ中毒だと思ったら、すぐに医師の診察を受けましょう。

■きのこ鑑別相談窓口

きのこ採りが行われる時 開設中

期にあわせ、きのこ衛生指導員による「きのこ鑑別相談窓口」が開設されています。10 月中旬以降の実施日程は以下のとおりです。

・開設日 10 月 17 日(木)、21 日(月)、23 日(水)、28 日(月)

・場所 長野県飯山庁舎 101 号会議室

・時間 13 時～15 時

※鑑別用のきのこは、根本まで全体を採取してお持ちください。また採取場所の状況を教えてください。

【お問い合わせ先】

北信保健福祉事務所食品生活衛生課 ☎3106

黄金色の田んぼの中に子どもたちの笑顔が  
**福島の棚田で稲刈り体験**

9月22日 福島新田棚田

9月22日、黄金色に色づいた福島新田の棚田で、福島新田棚田保存会（丸山福治会長）の皆さんによる稲刈り体験が開催され、棚田に学校田のある東小学校全校児童65人や保護者、一般参加の皆さんなど多くの方が参加されました。



田植えから約4ヵ月、ひょろつとした苗は太くなり、稲穂をつけましたが、児童たちも同じようにたくましく成長し、特に1年生は、体も大きくなり、学校生活にも慣れ、協力し合いながら作業を進めていました。

このあと10日から2週間ほど、はぜかけをした新米を給食でいただくそうです。

全長110km  
**信越五岳トレイルランニングレース**

9月15日 斑尾高原スタート

信越五岳（妙高山・斑尾山・黒姫山・飯縄山・戸隠山）の雄大なエリアを舞台に、日本を代表するトレイルランニングレースとなった信越五岳トレイルランニングレースが9月15日、斑尾をスタート地点として開催されました。



714名のランナーが全長110kmのコースに挑み、307名のランナーが完走を果たしましたが、この日は台風18号接近に伴い、ランナーたちの安全面を考慮したコース、時間設定に変更された影響もあり、悔し涙を流したランナーもたくさんいたようです。

参加者に、トレイルランニングの魅力を伺うと「森の中を走ると、地面の軟らかさを感じることができるし、岩場の山道を走ると、次の一步を出す場所を考えながら走れる。そういったところに楽しさを感じます。」と答えてくれました。

広告コーナー

国土交通省支援事業 **NEXUS**  
SUPER WOOD BLOCK  
驚きの木造耐震構造  
ネクサス ホームページ  
木造3階建て可能  
構造計算なし  
**(株)北誠商事** 検索  
Tel.0269-62-3344

地域の伝統行事から区民祭まで  
**市内各地で夏祭り秋祭りが行われました**

6月中旬～9月下旬 市内各地

五穀豊穡などを祈る伝統行事であったり、地域の皆さんが集い交流し合う場であったり、地区によって形式は異なりますが、市内では6月中旬から9月下旬にかけて各地区でお祭りが行われ、笛の音や太鼓の音、にぎやかで楽しそうな声が響きました。

その中で、9月21日、22日に行われた奈良沢神社例大祭には区民の方をはじめ、たくさんの観客が集まり、盛大な秋祭りとなりました。

奈良沢区公会堂の前では、小学生による薙刀の舞、中学生による小天狗の舞、高校生や大人による獅子舞に続き、大天



狗による松明の舞が行われました。

大天狗が、長さ2mを超える松明に火をつけて振り回すと、その迫力と、松明の熱が周りをとりまく観客にも伝わり、大きな歓声があがりました。

この日は、迫力ある伝統的な祭りを撮影しようと、たくさんカメラマンも周囲を取り囲み、シャッターチャンスを狙っていました。

平成24年度 水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6480戸
年度末の給水人口	1万7449人
年間の総配水量	256万6026㎡
1か月の平均配水量	21万3836㎡
年間の有収水量	195万9192㎡
1か月の平均有収水量	16万3266㎡
有収率	76.4%
供給単価	212.52円
給水原価	192.94円

有収水量：水道料金請求の対象となった水量

山岸水源水道施設整備事業として、受水槽築造1カ所、用水路修繕等を行い、山岸水源施設用地および水源保全用地として土地を買収しました。

また、大規模災害に対応できるよう給水車2台、加圧ポンプ付を購入いたしました。

水道施設整備等の事業実施のために借入れ

【平成24年度の概況】  
当会計期間の飯山水道事業の営業状況は、営業収益のうち大半を占める給水による収益（水道料金収入）は、4億1637万円となりました。（人口および観光客の減少、加えて節水意識の向上により、前年度

約0.6割の減少）  
また、水道施設の改良等、工事の施工状況は、配水管等の定期的な布設替工事の他、新幹線飯山駅の駅前周辺整備に伴う配水管工事、新幹線飯山トンネル補償関連施設整備（代替水源等）を実施し、前年度に引き続き新幹線関連事業を進めました。

主な工事は、昨年に引続き木島地区吉区において水源送水管布設替工事、太田地区蔵野区において配水管布設替工事、施設改良工事として、破裂・水質の異常等で早急に対応できるよう有尾第二配水池テレメータ設置、上水瑞穂水源濁度計設置、木島・太田のテレメータのオーバーホールを実施しました。

【安全でおいしい水の安定的な供給を】  
水道事業は、地方公営企業として常に企業の経済性を発揮しながら、計画的に事業を実施してまいりますが、ここ数年配水池からの配水量に対して料金として回収される水量の割合（有収率）の低下が見られます。漏水が主な原因と考えられることから、引き続き漏水箇所の特定と修理を行い有収率の向上を図り、経営の改善に努めます。今後も「安全でおいしい水の安定的な供給」をいたしますので、市営水道へのご理解とご協力をお願いします。

平成24年度 水道事業 **決算**  
(地方公営企業)  
飯山水道事業(会計)の決算の概況をお知らせします。

【安全でおいしい水の安定的な供給を】  
水道事業は、地方公営企業として常に企業の経済性を発揮しながら、計画的に事業を実施してまいりますが、ここ数年配水池からの配水量に対して料金として回収される水量の割合（有収率）の低下が見られます。漏水が主な原因と考えられることから、引き続き漏水箇所の特定と修理を行い有収率の向上を図り、経営の改善に努めます。今後も「安全でおいしい水の安定的な供給」をいたしますので、市営水道へのご理解とご協力をお願いします。

した、企業債の繰上償還（返済）も行いました。（年度末企業債残高、約17億1100万円、前年度比12.6%減）  
このような状況の中、平成24年度の水道事業会計は、黒字を計上することができました。

営業収益・営業外収益を合計した収入は4億4309万円、支出は3億8253万円となり、この結果当年度の純利益は6056万円になりました。

貸借対照表の要旨 (平成25年3月31日現在) 単位：万円

資産の部		負債・資本の部	
有形固定資産	51億0655	引当金(修繕)	2492
土 地	7308	固定負債合計	2492
建 物	2億5222	未払金	1億3720
構 築 物	43億5862	その他流動負債	448
機械および装置	1億9684	流動負債合計	1億4168
車両および運搬具	1154	負債合計	1億6660
工具器具および備品	398	自己資本金	14億6209
建設仮勘定	2億1027	借入資本金(※)	17億1110
無形固定資産	8	(企業債)	
固定資産合計	51億0663	資本金合計	31億7319
現金預金	3億0221	資本剰余金	20億3072
未収金	2092	利益剰余金	6056
貯蔵品	121	剰余金合計	20億9128
その他流動資産	10	資本合計	52億6447
流動資産合計	3億2444	負債・資本合計	54億3107
資産合計	54億3107		

※「借入資本金について」  
一般企業においては、長期借入金等は固定負債として整理されますが、地方公営企業は、株式発行による自己資本金の調達という方法がなく、企業の実態資本をなす固定資産は企業債を財源とする場合が多いため、この実態資本に対応する資金源泉としての企業債を広義の資本と考え、借入資本金という独自の制度を設けて整理しています。

損益計算書の要旨 (H24.4.1～H25.3.31) 単位：万円

科目	金額	前年度比
営業収益…収入	4億3105	4.2%↓
給水収益	4億1637	0.6%↓
受託工事・その他収益	1468	52.8%↓
営業費用…支出	3億1060	7.4%↓
原水および浄水費	3628	3.6%↑
配水および給水費	4135	0.5%↑
受託工事費	417	80.2%↓
総係費	2952	23.2%↓
減価償却費	1億9850	0.1%↓
その他	78	18.8%↓
営業利益【A】	1億2045	5.1%↑
営業外収益…収入	1204	39.5%↓
他会計補助金	371	0%—
その他	833	48.6%↓
営業外費用…支出	7193	9.5%↓
企業債利息	6353	17.6%↓
その他	840	255.9%↑
営業外収益－営業外費用【B】	△5989	
経常利益【A+B】	6056	21.1%↑
翌年度繰越	6056	